

◎ 教育目標



よく考え学ぶ子
思いやりのある子
元気でよく働く子

みどりっ子

日光市立大室小学校



学校だより
No. 13
H26. 1. 14

あけましておめでとうございます 3学期は「想像力」を発揮して！

3学期が始まりました。3学期は登校日数が51日間（6年生は49日間）という、1年間で一番短い学期です。しかし、一番大事な学期でもあります。それは、**3学期が学年のまとめの学期であるとともに、次の学年への準備の学期でもあるから**です。

4月に子どもたちが1学年進級するための、6年生は中学生という新しいステージに向かうための、大切な学期が3学期ということになります。

そんな大切な3学期に、子どもたちに育ててもらいたいこと、意識してもらいたいことを、3学期の始業式の日に話しました。話したことは、「想像力」をもつことの大切さについてです。「想像力」とは、実際に経験しなくても自分で考えられる力のことで、**「想像力」について、二つの話をしました。**

ひとつ目の話は、私の孫と大室小学校の子どもたちとのことです。

正月に、私の孫（2歳）が遊びに来ました。かわいいのですが、何か気に入らないことがあると、すぐに駄々をこねます。「嫌だ」とわがままを言います。時には地団駄を踏んで大声で泣くこともありました。それは、私の孫が、**自分のことしか考えられない、自分の気持ちでしか行動できないから**です。私の孫は、「自分が駄々をこねたら周りの人たちはどう思うのだろうか。」とか、「嫌だ、と自分勝手に言ったらどんな迷惑がかかるのだろうか。」ということを考えられない、つまり、想像できないわけです。もちろん、2歳だから、仕方ありません。

ところが、小学生になった大室小学校の子どもたちの中にも、**自分の意見が通らなかつたり、ちょっとでも気に入らないことがあったりすると、ふてくされたり、駄々をこねたりする子**が見られます。それでは、私の2歳の孫と変わりがないと思っています。自分以外の周りのことに対して想像できないというのは、小学生として恥ずかしいことだとも思いますが、どうでしょうか。

二つめの話は、子どもたちが使っている教室や机、椅子と大室小学校の子どもたちとのことです。

子どもたちは毎日、自分のクラスに入り、自分の机や椅子で勉強したり生活したりしています。ところが、子どもたちが使っている教室はもちろん、机や椅子は子どもたち個人のものではありません。1学年進級するということは、**自分たちが使っていた教室やくつ箱、机やイスなどを次の学年の人たちに使ってもらおうということ**でもあるのです。

今まで使っていた教室や机、イスをきれいにし

次の学年の人たちに使ってもらおうと思うのは当たり前のことだと思います。物を大切にすることはこういう心のことです。

ところが、**残念なことに、自分の物でもないのに、机に落書きをしたり、傷を付けたりしている子が**大室小学校にも見られます。「進級したのに、傷ついた汚い机やイスを使わなければならなくなった人は、きっと嫌な気持ちになるだろう。」と、私なんかは思うのですが、**そういうような「想像力」が乏しいようです**。さらに言えば、自分を賢くしてくれる手伝いをしてくれた教室や机、椅子などに対する**感謝の気持ちも少ない**のだろうと思えてなりません。

「こんなことをやったらどうなるんだろう。」とか、「こんなことを言ったら友達はどういう気持ちになるだろう。」ということ、そして「自分がされたら自分だったらどう感じるのだろうか。」ということ、小学生ならば考えられなければいけません。私の2歳の孫と同じような反応でいいはずはないのです。**自分のことだけでなく、自分以外の人の気持ちや物について、いつも考えること、そういう「想像力」を働かせることが、よく耳にする「思いやり」の心をもつこと**なのだと思います。「思いやり」と言うと難しいですが、それは、「想像力」を働かせて考えるということなのです。

今の学年のまとめと次の学年への準備という大切な3学期だからこそ、「想像力」を働かせて、いろいろな人や物に「思いやり」の心をもてるようにがんばってほしいと思います。



始業式で子どもたちに話した内容です。「想像力」について御家庭でも話題にしていただけたいと思います。今年もよろしく願いいたします。

新しい職員の紹介



12月に退職された3年2組担任のF. A先生の後任の先生が1月1日から本校に勤務しています。

鹿沼市立津田小学校からの転任で、O. T先生です。

本年度末までの期間となりますが、F. A先生同様、どうぞよろしく願いいたします。